

インディアカ



さいたま

<http://sia.main.jp/>

平成29年 6月3日発行

号外

発行責任者

埼玉県インディアカ協会 会長 小島信昭

編集 SIA広報部

第13回全日本インディアカトーナメント大会 今年の埼玉はどうした？

4月29日(土)東京体育館に於いて、例年より早い、第13回全日本インディアカトーナメント大会が開催されました。昨年の関東大会上位チーム11チームが参加しましたが、他県チームがレベルアップしてきたのでしょうか？決勝トーナメント進出は6チームで、優勝1チーム・準優勝1チームと健闘され、来年度に期待したいと思います。尚埼玉県審判団の皆さんご苦労様でした。



男子の部
優勝 HAYATE



シニア女子の部
準優勝 天元

種目	優勝		準優勝		3位		決勝トーナメント 進出(埼玉県)	予選リーグ 参加(埼玉県)
	チーム名	所属	チーム名	所属	チーム名	所属	チーム名	チーム名
男子	HAYATE	埼玉県	H(アッシュ)	愛知県	日の出メンズ	福島県		ひまわり
					ルビー	沖縄県		
女子	マドマックス	愛知県	栗原レディース	宮城県	ザ・イーズ	埼玉県	HAYATE	
					COLOR	愛知県		
シニア 女子	ブラックナック	愛知県	天元	埼玉県	ベルジュ	静岡県		びたみん
								ガッツ2001
男女 混合	藤ハピネス	愛知県	竜王	新潟県	ひまわり	埼玉県		プラスワン
					すずらんFC	千葉県		
シニア 男女 混合	NEXUS	愛知県	スクランブルF-1	福島県	ラッキーステップ	東京都		黒鷲
					ナイン	埼玉県		

第13回全日本インディアカトーナメント大会



総 合 開 会 式



3 位 ひまわり



3 位 ザ・イーズ



3 位 ナイン



ナイスアタック



ナイスアタック



応援スタッフの皆さんお疲れ様です



審判員ご苦労様です

2017 JAPAN FRIENDSHIP INDIACA



第23回ジャパンフレンドシップインディアカリーグマッチ



4月30日東京体育館に於いて101チームの参加でおこなわれました。毎年恒例の8グループによる色分けでしたが、参加チーム数の減少や年齢を細かく分けたことで、コートによって試合数が3・4・5試合と不公平感が残る大会となりました。今年の色別優勝はピンクチームでした。来年度は試合方法を検討して頂きたいと願っています。

☆29年度も恒例色別シリーズ交流大会☆



101チームの参加で8色の色別に分かれ試合が行われる。優勝はピンクでした。

《情報・連絡》

【今後の県協会・他 行事予定】

06月11日 C級認定講習会 (白岡市)
06月18日 C級認定講習会 (三芳町)
07月予選会 2日南部・9日東部・西部・北部
08月05日 中央大会抽選会 (県民活動センター)
08月27日 中央大会 (桶川サンアリーナ)
09月24日 シニア大会 (幸手市)



☆改訂競技規則の一部☆

第4条第4項2(P9)

競技服に表示する番号は、1番～99番の範囲で競技服と対照的な色合いにし、その大きさは、胸部は天地10cm以上で字幅は2cm以上。背部は天地15cm以上で、字幅は2cm以上とする

第4条第4項3(P9)

競技者は、手の指のテーピング、肘当て、膝当てを装着することができる。

第5条第1項4(P9)

主将(キャプテン)は、サーバー順の確認をすることができる。

第7条第1項1(P12)

試合の開始に先立ち、主審は両チームの主将にジャンケンを行わせる。ジャンケンに勝ったチームの主将は次の一つを選ぶ。

- 1、サービスを選ぶ権利(サーブあるいはレシーブ)
- 2、コートを選ぶ権利。

第7条第1項2(P12)

ジャンケンに負けたチームの主将は、残っている一つの権利を得る

第8条第1項3(P14)

ブロックプレーを除くチームの2人の競技者が同時にインディアカボールに触れたときは、2回タッチしたものとして数える。その後のプレーはそのいずれかの競技者が続いてインディアカボールに触れてよい。

第9条第2項(P16)

ネットに引っ掛かり静止したインディアカボール

インディアカボールがネットに引っ掛かり静止した場合は、ノーカウントとしてやりなおしとする。ただし、4回目の打球については、失敗とする

第9条第6項2(P17)

オーバーネット

1. 競技者は、相手側コートのインディアカボールに触れることはゆるされない(ネット下も同様である)
2. 競技者は、アタックヒットの後、その手がネットを超えて出ることは許される。

編集後記

平成29年度より広報部は4月より新たなメンバーとなりスタートしました。県協会と各市町をつなぐ情報誌、広報誌として部員一同頑張っております。これからも大会、講習会等で埼玉の腕章を付けた姿をお見かけしたら気楽にお声掛け下さい。

広報部

巻島清司 柳田憲夫 鶴巻篤子 栗原一雄 矢尾板勲 相馬誠一 平本伸子 長島弘明 白井義数